

タイトル 車いすでの自立生活を叶えたい!~雪国のナナメ玄関革命~

所有・建方形式 持家一戸建

設計 (株)土屋ホームトピア

施工 (株)土屋ホームトピア

構造 在来木造

講評

車椅子でも生活できる戸建てを購入し家への出入りをスムーズにする工夫を施した。斜めの玄関が風除室と昇降機の3空間を見事に使いやすくしている。車椅子利用の息子さんにとって外出機会が増える改修は、大きな一歩への足がかりになったであろう。

リフォーム前後の写真



C
工事前 a.b.c
GLから1階FLまでは4つの段差があり、合計670mmの高低差は介助があっても車いすでの外出は困難



A 積雪対策で設けた風除室は建蔽率・床面積増加の対象に
外壁後退距離緩和も考慮し、既存車庫を切り詰めて法令遵守した

B 玄関の壁をナナメにすることで室内側も広くなり
外用車いすも余裕で置ける空間になった



C 昇降機を風除室で覆うことで除雪を軽減
F 昇降機横に階段を設けることで歩行者と車いす双方での出入りにも配慮



D 玄関土間と風除室内床を上げて昇降機を設置し4つの段差を解消
ナナメの入り口は有効開口が広い玄関引戸の設置も可能に

E 玄関土間と風除室内床を上げ昇降機を設置することで4つの段差を解消
介助なしでも車いすでの移動が容易にできる

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

【リフォームの動機】2020年の夏、高校生の息子が車いす生活になった為3階建てアパートには住めなくなり、中古の一戸建てを購入。積雪が多い地域の為、冬でも安心して息子が自立して生活できるような家になりたい。

確保。車いすで容易に通れるようにした。③積雪対策として昇降機を風除室で覆った。

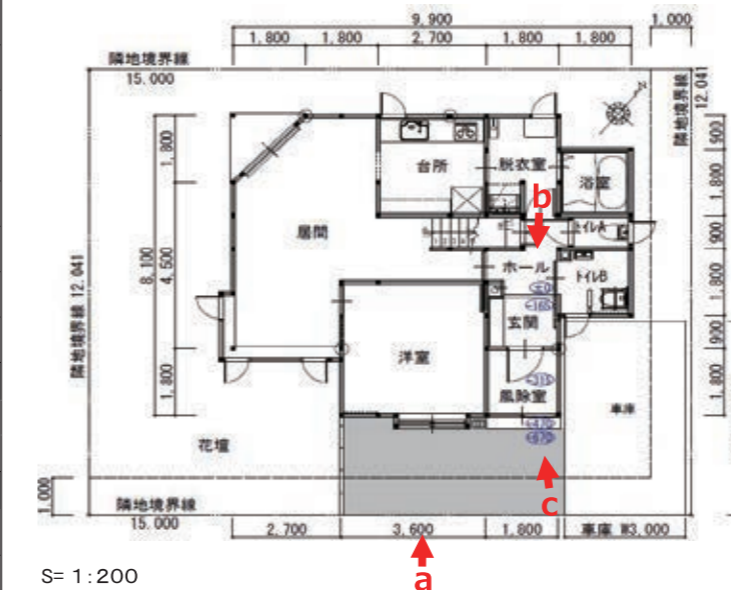
【設計・施工の工夫点】既存では外から室内に入るまでは段差が4つ、670mmの高低差があり、外出の際は大人の介助が必須の為、段差昇降機を設置 ②玄関壁をナナメにし、玄関引戸の有効幅を

【施主の感想・満足度】ナナメの玄関には驚いた。玄関の入り口が広がる以外にも室内側も広くなり、外用車いすの置き場所ができたのも嬉しい。室内外の段差がなくなったので、息子が1人でも車いすで外に出られるようになり外出の機会も増え、庭でバーベキューをする回数も増えた。息子の笑顔が増えたことが一番よかった。

性能向上の特性	特に配慮した事項	lw 値、ls 値
バリアフリー性能	GL~1階FLまでの4つの段差を一つにまとめて昇降機を設置した。車いすと歩行者双方が出入りしやすいように引き違い戸で動線を分けた。	リフォーム前 リフォーム後

データ	
所在地	北海道札幌市
新築竣工年	1991年
築後年数	33年
施工期間	52日間
該当工事床面積	9.6㎡ / 総工事床面積 9.6㎡
該当部分工事費	556万円 / 総工事費 556万円
居住者構成	65歳以上: 人 / 40~64歳: 2人 / 15~39歳: 2人 / 14歳以下: 人 / ペット 匹

リフォーム前の平面図



リフォーム部位: □居室/ □台所/ □浴室/ □便所/ □洗面所/ □廊下/ □階段/ ■玄関/ □クスタリア/ □マツヨリ共用部分/ □その他

リフォーム後の平面図



<外壁後退距離緩和>外壁後退距離1m
風除室外周距離 2900mm <3000mm
車庫面積 3.44㎡ <5㎡